【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【公開番号】特開2019-109046(P2019-109046A)
【公開日】令和1年7月4日(2019.7.4)
【年通号数】公開・登録公報2019-026
【出願番号】特願2019-74852(P2019-74852)
【国際特許分類】
*Ｆ２４Ｆ　1/32　(2011.01)*
*Ｆ２５Ｂ　41/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/32
Ｆ２５Ｂ　41/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和2年7月15日(2020.7.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
室外ユニット（１０）と複数の室内ユニット（４０）との間で液側冷媒流路（ＲＣ３ａ）を形成する冷媒連絡配管（Ｌａ）に接続され、前記冷媒連絡配管とともに前記液側冷媒流路を形成し、冷媒を分岐又は合流させる配管ユニット（６０ｅ－６０ｇ）であって、
複数の支管（８０Ｂ）と、
各前記支管と連通し、各前記支管へ流れる冷媒又は各前記支管から流れる冷媒の流路を形成し、設置状態で前記液側冷媒流路において前記支管よりも前記室外ユニット側に位置する主管（７０Ｂ）と、
各前記支管と、前記主管とを接続する接続管部（９０Ｂ）と、
を備え、
前記主管は、設置状態における鉛直方向（ｙ）に沿って延びる第１部分（７４）を含み、
少なくとも１つの前記支管は、
設置状態における鉛直方向（ｙ）に沿って延びる第２部分（８２ａ）と、
設置状態で前記液側冷媒流路において前記第２部分よりも前記室内ユニット側に位置し、設置状態における鉛直方向に沿って延びる第３部分（８４）と、
設置状態で前記液側冷媒流路において前記第２部分と前記第３部分との間に位置し、前記第２部分と前記第３部分とを接続する折返し部分（８３）と、
を含み、
前記液側冷媒流路を介して前記室外ユニットから前記室内ユニットへと流れる冷媒が、設置状態で、前記第１部分においては下方向に沿って流れ、気液二相状態で前記接続管部（９０Ｂ）に流入するように、前記主管および前記接続管部が配置される、
配管ユニット（６０ｅ－６０ｇ）。
【請求項２】
少なくとも１つの前記支管は、設置状態で前記液側冷媒流路において前記第３部分よりも前記室内ユニット側に位置する第４部分（８５）をさらに含み、
前記第４部分は、水平方向に沿って延びる、

請求項２に記載の配管ユニット（６０、６０ａ－６０ｇ）。
【請求項３】
前記支管のサイズは、２分以上６分以下である、
請求項１又は２に記載の配管ユニット（６０、６０ａ－６０ｇ）。
【請求項４】
請求項１に記載の前記室外ユニット（１０）と、
請求項１に記載の複数の前記室内ユニット（４０）と、
請求項１に記載の前記冷媒連絡配管（Ｌａ）と、
請求項１から３のいずれかに記載の前記配管ユニット（６０ｅ－６０ｇ）と、
を備える、
空調システム（１００）。